

NPO法人 北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

(振込先:郵便局 02790-6-9847 北海道自由が丘学園をつくる会)

〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条15丁目5-11 TEL(011)858-1711 FAX(011)858-1333

URL <http://www12.plala.or.jp/hokjioka/> →変更:www.hokjioka.net E-mail : codmokan@agate.plala.or.jp

支援会員・寄金 3,000円 (年額)
*会員には、本通信を配布します。



《写真説明》'14.3/22

「卒業・修業のつどい」:

第1部/証書・スピーチ後の
第2部は発表+学生タイム、
生徒作品紹介〜ペレット袋
で作った衣装&仮装!!

INDEX

- P1: 巻頭言/
- P2-3: ヒューマントラスト/
普及活動、記念エッセー
- p4-5: 教育大学生実習
「音楽」テーマの授業
- p6: 実習/行事・食育
- p7: 会費/寄金納入
- p8: 時事、カレンダー、他

「私と自由が丘」

座敷 わらし (生徒ペンネーム)

私は、小6の5月から自由が丘月寒スクールに通っています。その年その年で、私の強みになるものが、みろみると身についていることを実感します。それは、具体的には言いづらいのですが、「人とのかかわり方」だと思っています。私の持ち味はそのままに、人との接し方を、自由が丘では教わりました。

そしてそれは私の「土台」です。人一倍じょうぶな土台です。プリンのように、下がドテツとしていて、がんじょうな土台です。これから私が、どんなトッピングをしても耐えられる土台です。なので安心して、私として人と接することができるのです。

自由が丘で失ったものといえば「恥」です(笑) もちろん今でも恥ずかしいことはありますが、だいたい恥はぶっとびました! だからもう好きなように楽しめるんです。それがとても嬉しいのです。

そんな自分になれたのは、自由が丘の考え方と、それにたずさわった方々のおかげです。スタッフも、学生も、生徒も、そんな自由が丘のおかげで輝いて、また、他の人にもその輝きをわけあてることができるのです。きっと私もその1人です。私がそれになれたことが本当にほこらしい。これからもその事実が変わらないということが、幸せです。ありがとうございました。

(筆者は4年間を自由が丘で過ごし、この春高校に進学しました)

追記: 教育大鉦路校実習の感想文から

- ・「学生から得たもの」〜授業づくりをがんばっていた。生徒一人ひとりによりそう姿勢・・・とにかく全力!!!!って雰囲気
- ・年4回の実習×16回は私の大事な大事な1週間でした。皆さんのおかげでこんなに成長したのです!(見えるかな?)